

研究レポート No.769



たまねぎ春まき作型における雑草防除法

【1 成果概要】

たまねぎは雑草害を受けやすいという特徴を有していること、岩手県における春まき作型ではマルチ無し栽培が適していることから、低コストの雑草防除法が求められています。そこで、春まき作型における除草剤の使用法について検討しました。

- (1)たまねぎ定植直後に散布する土壌処理剤はモーティブ乳剤を 10a あたり 400ml 土壌処理すると最も効果が高く、次いでゴーゴーサン乳剤を 10a あたり 500ml 土壌処理が有望です。
- (2)上記に加えて5月中下旬にグラメックス水和剤を 10a あたり 200g 土壌処理することで、栽培期間中の手取り除草が不要となります(図1、図2、図3)

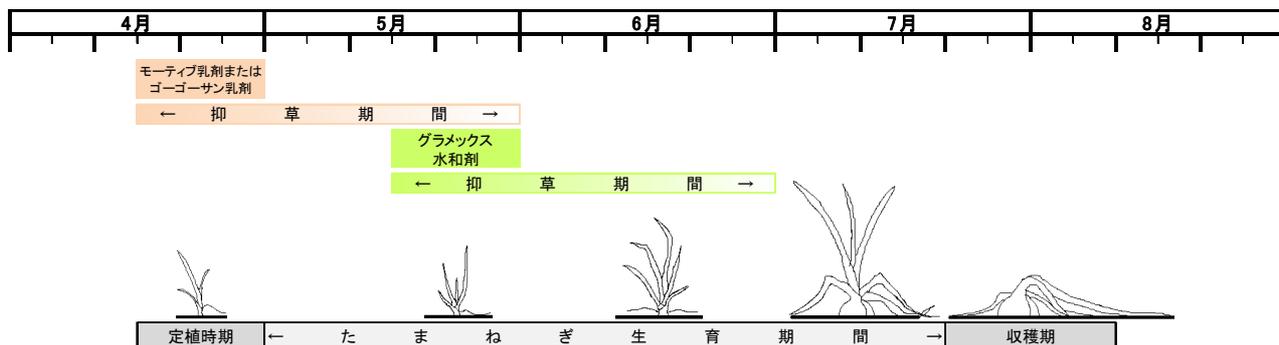


図1. たまねぎ春まき作型における除草剤を用いた雑草防除体系の模式図

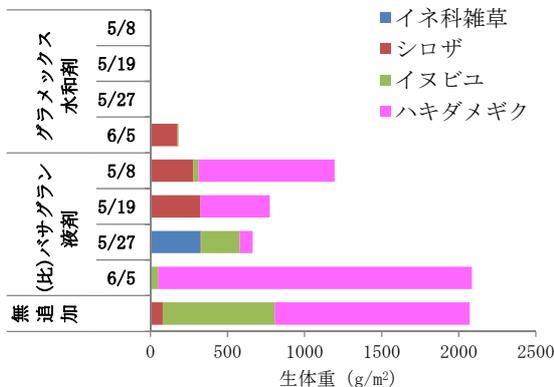


図2. 除草剤の種類・処理時期と平成26年7月14日時点での雑草草種・重量

※4月18日にゴーゴーサン乳剤 500ml/10a を全面土壌散布



図3. 平成26年7月14日時点での雑草発生状況

【2 効果】

除草にかかる労力が減ることで、春まきたまねぎの安定生産に寄与します。

【3 留意事項】

- (1)除草剤の処理は乾燥を避け、降雨後などの適湿条件下でおこなってください。
- (2)本雑草防除体系にかかる薬剤コストは、10a あたり 4200～5000 円ほどになります(平成26年度税込価格)。
- (3)イネ科雑草が多発した場合、イネ科雑草に効果のある茎葉処理剤を追加で使用してください。使用する剤は岩手県農産物病害虫・雑草防除指針「たまねぎ(秋播き)」を参照し選定してください。
- (4)詳細については「平成26年度試験研究成果」をご覧ください